

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【公開番号】特開2017-67984(P2017-67984A)

【公開日】平成29年4月6日(2017.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-014

【出願番号】特願2015-192672(P2015-192672)

【国際特許分類】

G 0 2 C 13/00 (2006.01)

B 2 4 B 9/14 (2006.01)

【F I】

G 0 2 C 13/00

B 2 4 B 9/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月27日(2018.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼鏡を制作するために用いられる複数の眼鏡機器の動作を補助するための端末装置であって、

眼鏡を制作する工程において共通の工程を行うために用いられる同一種類の複数の眼鏡機器と通信を行う通信手段と、

前記同一種類の複数の眼鏡機器の待機情報を取得する取得手段と、

前記取得手段の前記待機情報に基づいて、動作を補助する眼鏡機器として、前記同一種類の複数の眼鏡機器から少なくとも 1 つの眼鏡機器を設定する設定手段と、

前記端末装置において入力された操作信号を前記設定手段によって設定された眼鏡機器に前記通信手段によって送信する、又は、前記設定手段によって設定された眼鏡機器において入力された入力信号を前記通信手段によって受信する制御手段と、

を備えることを特徴とする端末装置。

【請求項 2】

請求項 1 の端末装置は、眼鏡を制作する工程において互いに異なる工程を行うために用いられる異なる種類の複数の眼鏡機器の動作を補助するための端末装置であって、

前記通信手段は、前記同一種類の複数の眼鏡機器、及び、前記異なる種類の複数の眼鏡機器、と通信を行い、

前記取得手段は、眼鏡を制作する際の各作業工程の少なくともいずれかの作業工程において、前記同一種類の複数の眼鏡機器が存在した場合、前記同一種類の複数の眼鏡機器の待機情報を取得することを特徴とする端末装置。

【請求項 3】

請求項 2 の端末装置において、

前記取得手段は、眼鏡を制作する際の各作業工程のそれぞれにおいて、前記同一種類の複数の眼鏡機器が存在するか否かを検出し、前記同一種類の複数の眼鏡機器が存在すると検出された作業工程において、前記同一種類の複数の眼鏡機器の待機情報を取得し、

前記設定手段は、前記取得手段の前記待機情報に基づいて、眼鏡を制作する際の前記各作業工程にそれぞれにおいて、動作を補助する眼鏡機器として、少なくとも 1 つの眼鏡機

器を設定することを特徴とする端末装置。

【請求項 4】

請求項 1～3 のいずれかの端末装置において、

前記設定手段によって設定された眼鏡機器の動作を補助する作業画面を前記端末装置のディスプレイの画面に表示する表示制御手段と、
を備えることを特徴とする端末装置。

【請求項 5】

眼鏡を制作するために用いられる複数の眼鏡機器の動作を補助するための端末装置において用いられる端末制御プログラムであって、前記端末装置のプロセッサによって実行されることで、

眼鏡を制作する工程において共通の工程を行うために用いられる同一種類の複数の眼鏡機器の待機情報を取得する取得ステップと、

前記取得ステップの前記待機情報に基づいて、動作を補助する眼鏡機器として、前記同一種類の複数の眼鏡機器から少なくとも 1 つの眼鏡機器を設定する設定ステップと、

前記端末装置において入力された操作信号を前記設定ステップによって設定された眼鏡機器に前記同一種類の複数の眼鏡機器と通信を行う通信手段によって送信する、又は、前記設定ステップによって設定された眼鏡機器において入力された入力信号を前記通信手段によって受信する制御ステップと、

を前記端末装置に実行させることを特徴とする端末制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(1) 本開示の第 1 態様に係る端末装置は、眼鏡を制作するために用いられる複数の眼鏡機器の動作を補助するための端末装置であって、眼鏡を制作する工程において共通の工程を行うために用いられる同一種類の複数の眼鏡機器と通信を行う通信手段と、前記同一種類の複数の眼鏡機器の待機情報を取得する取得手段と、前記取得手段の前記待機情報に基づいて、動作を補助する眼鏡機器として、前記同一種類の複数の眼鏡機器から少なくとも 1 つの眼鏡機器を設定する設定手段と、前記端末装置において入力された操作信号を前記設定手段によって設定された眼鏡機器に前記通信手段によって送信する、又は、前記設定手段によって設定された眼鏡機器において入力された入力信号を前記通信手段によって受信する制御手段と、を備えることを特徴とする。

(2) 本開示の第 2 態様に係る端末制御プログラムは、眼鏡を制作するために用いられる複数の眼鏡機器の動作を補助するための端末装置において用いられる端末制御プログラムであって、前記端末装置のプロセッサによって実行されることで、眼鏡を制作する工程において共通の工程を行うために用いられる同一種類の複数の眼鏡機器の待機情報を取得する取得ステップと、前記取得ステップの前記待機情報に基づいて、動作を補助する眼鏡機器として、前記同一種類の複数の眼鏡機器から少なくとも 1 つの眼鏡機器を設定する設定ステップと、前記端末装置において入力された操作信号を前記設定ステップによって設定された眼鏡機器に前記同一種類の複数の眼鏡機器と通信を行う通信手段によって送信する、又は、前記設定ステップによって設定された眼鏡機器において入力された入力信号を前記通信手段によって受信する制御ステップと、を前記端末装置に実行させることを特徴とする。